

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

令和7年3月20日 第186号

## 人形浄瑠璃文楽を見に行ってきました

先月の狂言に続き、「日本の伝統芸能に触れてみる」の第2弾です。文楽はもちろん初めての観劇ですが、滅茶苦茶面白かったです(爆笑という意味ではなく)。こんな世界があったのかと心底驚きました。人形浄瑠璃は人形の動きがリアルで凄いいというイメージしかなかったのですが、人形だけではないんですね。太夫(たゆう:朗読のようなもの)、三味線、人形が一体となっ



た総合芸術だそうで、観劇後に調べて理解したのですが、確かにこれは和風ミュージカルです。

太夫の語りは表情豊かで、何を言ってるのかはあまり分からないのですが、雰囲気だけで何となく分かった気がしてきます。三味線も多彩な音、表現豊かで魅力的です。もしもバイオリンを習っていなかったら、三味線を習いたいと言いだしていたと思います。人形は言うまでもなく動きの細部まで気を配られていて、じっと見ていると操っている人が見えなくなってくるのです。不思議です。

実際に観劇して初めて分かったのですが、人形を操る黒子は足を踏みしめてリズムを取ったり、合いの手のような感じで音を出しているのですね。場面によっては拍子木をたたき黒子が登場したりもします。

舞台の最初の挨拶で使われる「東西」の口上を目の前で見ることがもできます。とにかく一度は足を運んでみる価値はあります。お勧めです。



人形の手は猫の手のような感触だったそう



スナップエンドウだけは順調です。

週末から暑くなりますので、換気をしっかりしないとあつという間に干からびてしまいます。何とか畑に定植できるまで、大きくしたいと思います。

### 我が家の畑

現在取り組んでいる夏野菜の苗づくりですが、やはりヒーターを入れるないと気温が低すぎるようで、なかなか発芽しません。そりやプロは大きなビニールハウスの中でやっていることを、ペラペラの簡易温室で暖房器具なしでやっているの簡単ではないことが、全く芽が出ないの中心が折れます。

## 熱中症予防強化キャンペーンが実施されます(4月から9月まで)

2023年、2024年の夏は2年連続で観測史上1位の記録的な猛暑となりました。日本気象協会の発表では、2025年は過去2年ほどの極端な猛暑にはならない見込みですが、近年の中ではかなり暑い夏になる見込みとのことです。

熱中症対策実行計画に基づき、関係府省庁連携の下、熱中症予防強化キャンペーンが4月～9月の期間で実施されます。



### ◆「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」(厚生労働省)

職場における熱中症予防対策を徹底するため、厚生労働省では、労働災害防止団体などと連携し、5月から9月まで、「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します(4月を準備期間、7月を重点取組期間としています)。

キャンペーンでは、事業場への熱中症

予防に関する周知・啓発を行うほか、熱中症に関する資料やオンライン講習動画等を掲載しているポータルサイトを運営します。周知・啓発に当たっては、近年死亡者数が1年間で30人程度の状況が続いているため、以下について、特に重点的に呼びかけます。

- ① 暑さ指数(WBGT=湿球黒球温度)の把握とその値に応じた熱中症予防対策を適切に実施すること
- ② 熱中症のおそれのある労働者を早期に見つけ、身体冷却や医療機関への搬送等適切な措置ができるための体制整備等を行うこと
- ③ 糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼすおそれのある疾病を有する者に対して医師等の意見を踏まえた配慮を行うこと

### ◆企業の熱中症防止策を義務化

厚生労働省は、企業に対して労働者の熱中症対策を義務づける方針を示しています。

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、体制整備、手順作成、関係労働者への周知を事業者には罰則付きで義務付けることとしています。